再生の題字（森廸彦様提供）は、森信三先生の直筆です。

悟りとは、他を羨まぬ心的境涯ともいえよう。

森信三先生一語千鈞より

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

第0054号

2021.2月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

現代における孝の哲理

― マナコを閉じて親の祈り心を ―

森　信三先生　講述

実践人福岡仁風読書会　第50回　1月2日(土)

場所:福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号　仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。

(参加費無料)　詳細は、世話人へお問い合わせください。

十一　現代における「孝」の実践への八ケ条

十善法語

前章においてわたくしは、今は亡きわれらの同志故徳永康起君の「真言」を手がかりにしつつ、人の子の親たる者の抱く切なる「祈り心」について考えてみたわけですが、考とは結局「親の祈り心への目覚めに始まり、それの深化と実践に終る」ということに到達したわけであります。それはさらにつづめて申すとすれば、考とは結局親の心を安んずるにある、とも申せましょう。すなわち心の底ではつねに親の気持を察して、親の心の喜ぶようにと考えて行動することが大切だといえましょう。手近なところで試しに申してみれば、時には親の好きなものを買ってきて喜んでもらうとか、また時には親の肩をもんで上げるとか、さらには親に対してはなるべくやさしいコトバをかけるように心するとか、これらの事も考の実践としてはたいへん大事なことで、たたえられるべきことでありますが、しかしそれ以上にもっと根本的な基盤ともいうべきことは、親を安心させるということであって、これこそが根本第一と思われます。この点を最も卑近な例で申すとすれば、ここに一人の若者があって、たまに親もとをたずねてリッパな手みやげを持参し非常に多額な小遣を親に上げたとしても、もしそれらの金がギャンブルなどで稼いだものだとしたら、親の身にとっては果して安んじられるでしょうか。

前章でも親の祈り心とか、わが子への深い心について述べたように、親としては数えきれぬほどの願心をもっているといえましょうが、とりわけ①不発事故の願い②不摂悪食の願い③不染悪趣の願い④不為悪業の願い⑤不落怠慢の願いをもち祈りつづけているわけであります。それ故、このような親の祈り心に目覚めて、悪に染まらずわが身の行動を慎まれるように――というのが、こうしてみなさんにお話をするわたくしの願いなのであります。

それにつけてもわたくしは、徳川時代の中期にこの大阪の中之島に生誕せられた高僧慈雲尊者のお教えを憶わずにはいられないのであります。この方は、今から丁度二百年ほど以前の方ですが、道元や親鸞などにも劣らぬほどの非常な大徳、高僧ですが、この方が晩年に京都の阿弥陀寺というささやかな寺で、今日ふうに申せば連続法話を為さったわけですが、その筆録が「十善法語」として遺されていまして、今なおお心ある人々から貴重な宝典として大へん尊重せられているのであります。その中で説かれているのは、

①不殺生(人はもちろん生き物のいのちをとらない)
②不偸盗(他人の物や金をぬすむな)
③不邪淫(色ごとにふけるな)
④不妄語(でたらめを言うな)
⑤不悪口(人のわるぐちを言うな)
⑥不両舌(人を仲たがいするようなことを言うな)
⑦不綺語(お上手ごとを言うな)
⑧不貪欲(物をむさぼるな)
⑨不慎恚(腹を立てて身をあやまるな)
⑩不邪見(物事に対して正しい見方をせよ)

という十善であります。

ぐりいし先生　三十年後に望みをかけた教育

連載４６回　　第三部　忘れせぬかも　　岡部　重　著作

母のない子 (二)

母のない子といっても、特に幼い時に母を亡くした子は、どうしても性格がひずむように思われる。Mもそうであったが、Oは更にはっきりとそのことが現われた。父は腕利きの大工さんで世間の信用も厚かったが、妻に先立たれてからは、多少身を持ちくずすようにもなり、又長期間宿りがけで仕事に出ることが多いらしく、母が居ないばかりか、父の愛情さえ幼き魂は受け取ることが少なかった。姉や兄は学校きっての模範生、隣近所のほめられ者で、二人は、全く父親代り、母親代りとなって涙ぐましいほどの世話をしてくれた。Oが二年の頃だったか、福岡に社会科見学に行った時など兄が中学を休んでOに付添ってきて、姉がつくってやった弁当を兄弟が寄りそうようにして食べていたこともある。これほどの兄姉の心づかいも母の亡い空虚さだけは満たすことが出来なかった。

担任の高木先生は、さきにはMを、こんどはOを受持ち、親切に善導されていたが、事件は、思いもかけず、部落で起きていた。近所に大きな養鶏家が居られるが、その鶏舎から卵を一抱え盗んできて、それをキャベツ畠にかくしていたということを、いっしょに連れて行かれた子どもの母親が、自分の子の警めに、学校に届けて下さった。盗んだ卵を食べた様子もなく、母のない空しさを医やすための行為ではなかったろうか。学校では職員間でそんな話し合いをし、みんなで可愛がっていきながら善導することになった。

担任の高木先生の手記が次のように書いてある。

Oが生れて間もなく、母は乳がんで死亡しました。本人は母の顔は知っていないようです。二年生のころの村の人たちと写った母の写真を持ってきて見せてくれましたが、やさしそうなふっくらとした顔でした。

一年生の頃、目立って悪いことをするといったことはなかったのですが、部落の方から近くの家の卵をぬすんだりしてそれを、キャベツ畠にかくしていたなど、言ってこられたのを聞いたことがあります。年下のものと遊んで、自分ではしないで、小さな子どもに悪いことをさせていたようです。その頃のOは余り目立たない子のようでした。しかし、学校になれ、教師になれてから、欲求不満から来るのではないかと思われるような行動が、目立って来たようです。

例えば、日直になっても自分の仕事はしない。他人の筆入れをかくす等、先生から注意してもらうことによって、母に対する愛情を感じていたのではないでしょうか。それは二年生になってからは、もっとひどくなりました。朝早く来ているのに、道具だけ入れてどこかに遊びに行き、掃除の時間になっても来ない。私は学校のあちらこちらを探して歩きましたが、見つけられると、バツの悪そうな顔をして、私のところへ来ていました。私の手を握るようなことをして、母親に対する感情を女である私によって、満足させていたのでしょう。

私は、ことある毎に親切に世話をしました。衣類をやったり、学用品の類をやったりしました。そして何時も家のことをたずね、「淋しかろうが、がんばりなさいね。」と励ましていました。二年生の頃、父親が学校改築の仕事に来ていましたが、あの頃のOは、朝も父親と共に来、帰りも待っていっしょに帰るといった具合で、毎日が楽しそうでした。そんな日が続いて、私たちまで喜んでいましたのに、父親は梯から落ちて大怪我をして、長い入院生活をするようになりました。折角の好機会も長くは続かず、再び不幸な生活に還ってしまいました。

次号へ続く

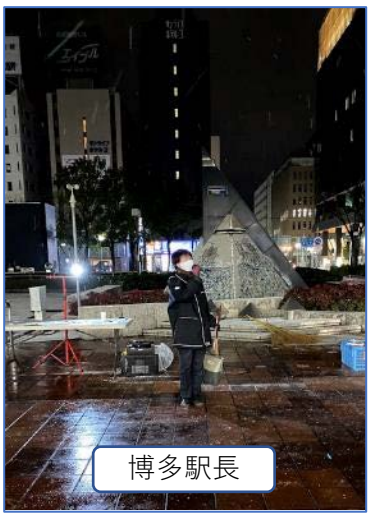
第326回　博多駅早朝清掃　　28年目・・・

1月8日（金曜日）　　50名参加

第３２６回目となった博多駅早朝清掃活動は、5年ぶりの雪景色となりました。大寒波の到来で大きく冷え込んだ福岡は公立高校は休校となりこの日は、精華女子高校の参加者もありませんでした。博多駅長は前夜から徹夜での線路の点検保全作業だったそうです。が、信念と実行力の強さからか元気よく参加され力づよい新年の挨拶をされました。世話人：冨吉　拝

博多駅長

初参加者



博多駅長

親子で参加

　初めて博多駅早朝清掃に参加しました。一発目の感想は、、こんな日の早朝に、こんなに人が集まるんかーーいっ！！ でした。なぜなら、大寒波で雪は降り道路は凍り、気温はマイナスです！それなのに50人ほどが！ 驚きました。皆さんすごい！(汗)
　高校生から利用していた博多駅を自分が掃除をする日が来るとは思いもよらずにいましたが、この機会を与えて下さった皆さんに感謝申し上げます。
今まで日頃の掃除から逃げていた私にとって、掃除の1時間はこれからの私を少しずつ変えてくれるようです。気づいても知らん顔していたゴミを拾う事は、今できる些細な事を今やる、の日々になり、その積み重ねが私の人生を創ることになる気がします。
今は自分への気づきですが、この時間を重ねることでまた新たな気づきを得ることが楽しみです。
皆さまこれから宜しくお願い致します！

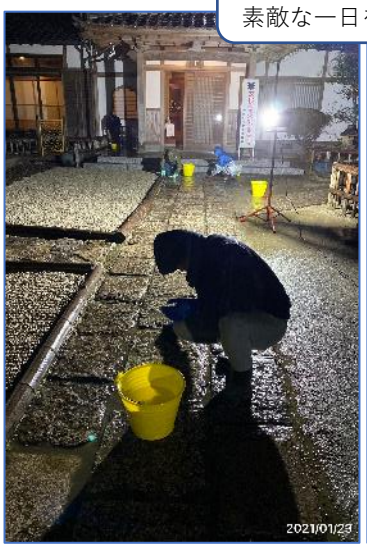
初参加者：田原　政和

早朝清掃2021年の１回目は、福岡空港からスタートしました。夜明けとともに離陸する、福岡発第一便の飛行機のお腹を眺めながらの清掃活動は至福の時間です。
今回は、いざ新地開拓！
今まで行ったことのない場所での清掃活動を行い、「空の門」という石碑やトイレなど新たな発見がたくさんありました。活動範囲が広がることで、この福岡空港が、日本を代表する空港へと、一歩一歩近づいているように感じずにはいられない、そんな清掃活動となりました。　文責：つつみ

令和を巡る早朝清掃／戒壇院　2020.1.25~

1月23日（土曜日）　第13回

今回の「令和を巡る早朝清掃」in戒壇院の清爽活動は、あいにくの雨を恵みの雨と、境内石畳を磨かせていただきました。暗闇にタワシの音とご住職の勤行が幻想的でした。
素敵な一日をスタートできました。　　世話人：冨吉　拝



今日は戒壇院、雨の日には雨のお掃除がありますとお聞きして雨の日のお掃除？どんなかな？と

戒壇院の石畳磨き、雨の水が恵みの雨になります。通常だったらいっぱい水を流して掃除したと思います。でも袈裟門さんからやり方を教えていただいて、お掃除もこんなに優しいやり方があるんだと、掃除されどお掃除、奥深いですね。ありがとうございます☺　　参加者：由紀ちゃん

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

1月16日（土曜日）

一時間で磨けたのはこれだけでした。
また次回磨きが楽しみです。

感動・気づき・工夫・謙虚・行動につながるトイレ掃除をご指導いただきありがとうございました！
すぐには取れない頑固な汚れを磨きながら、自分の中にも傲慢さや狡さといった、心の汚れがあることに気づくことができたり、あっちもこっちも磨こうとする自分の掃除の手順は、自分の思考そのものだと気づくことができたり、たくさんの気づきがありました。
奥が深いんですね・・・
次回はどんな気づきがあるのか楽しみです。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。　まりまり

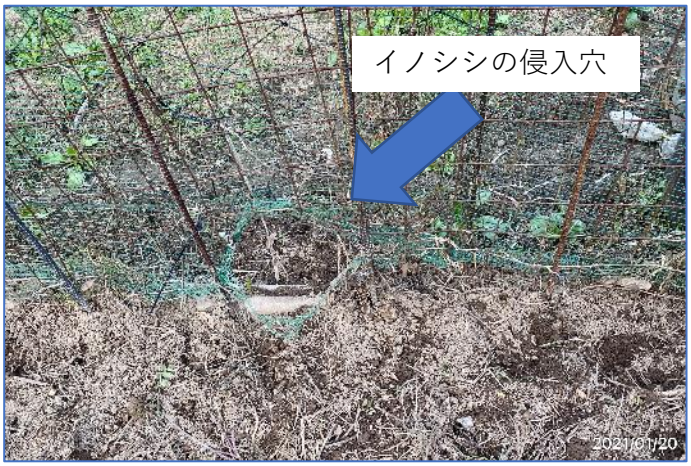
米ぬかペレット心土んで土壌改良

　サラリーマンを辞め、無肥料無農薬野菜を売って生活をする事を始めてもうすぐ4年になります。
雑草を生やしては刈り、土にすき込み、それを微生物が野菜が育つ栄養にしてくれている。だから育っていると思っていました。肥料を使わなくても野菜が育つ理由はそれだけだと。
　しかし、最近の野菜は育ちが思わしくなく、でも同じ土で雑草は育っていました。
なぜ！？？？わかりませんでした。先輩農家さんからも納得いく答えには行きつきません。
袈裟右衛門さんと出会い、なぜ！？？？が納得できる答えを得る事ができ、畑も見せて頂きました。
びっくりしました。頂いた大根の美味しい甘み。。経験に裏打ちされた結果。結果が自然の繋がりを、より沢山理解できていることの証し。そう思います。
≪写真は昨年貸して頂けることになった耕作放棄地の須恵圃場です≫
背丈よりも伸びた草を、細かく切って畑にすき込んでいましたが、すき込んだ草が土に還るスピードが遅く、秋の作付けを諦めました。
年が明けて籾殻ボカシと心土んをすき込みました。すき込んだ翌日に雨が降ったのでマルチで保湿します！
これから無化学肥料野菜を安定生産し続け、1人でも多くの地元の皆さまを笑顔に！、そして野菜を売って得た利益で地域に貢献したり、親がいない子どもの可能性を伸ばすお手伝いをしたいと考えています。
親が農家でなくてもやれる！！
農業は楽しく稼げる！！を実現しますので、ご縁をいただいた皆さま、いろいろとお世話になりますが、温かく見守り下さい。

福岡県糟屋郡　田原政和

耕作放棄地再生に取組む農友支援

NPO法人　楽農人



この小さな畑を荒らし回るイノシシ君、共生できる対策を！生産者の悲鳴を歓喜にと挑戦です。

福岡県筑前町の非耕作地を爽友のまりまりさんが世話人として土作りから栽培まで取組計画圃場です

『1月24日、楽農人宇美農場訪問』老若男女参加者全員が瞳を✨キラッキラ✨に輝かせ、耕作放棄地再生事業へのやりがいを感じていました。　　まりまり

生命の林と人生　五一、　外界の内界

021-1

光然京カルデラ

すでに幼い子どもの頃、私はたえず自然の珍奇な形を眺める癖があった。それは観察するというのではなく、その独特な魔力に、複雑な深い言葉に没頭したのである。磨かれた長い木の根、岩石の中の多彩な条紋、水に浮んだ油の斑紋、ガラスの中の亀裂―そのほか似たようなすべてのものが私にとって時として大きな魔力をもった。とりわけ、水、火、煙、雲、ほこり、そしてとくに眼を閉じたときに見えるぐるぐるまわる色彩の斑点などが・・・・

このような形象をみつめ、不合理で、複雑で、奇妙な自然の形に熱中していると、私たちの心と、そういう形象を成立させた意志とが一致するものであるという感じをもつようになる。

そしてまもなく私たちはこれらの形象を、私たち自身の気分であり、自分たちの創造の産物であると考えたい誘惑を感じるようになる。――私たちは自分たちと自然とのあいだの境界がゆらぎ、溶けてしまうのを見、私たちの網膜に映るさまざまな形象が外部からの印象によるものか、それとも私たちの内部から生じたものかわからないような気分になる。

私たちは、このような形象を見つめている場合ほど簡単容易に、私たちがどんなに熱心な創造者で、どんなに私たちの魂がいつも世界のたえまない表象の創造に関与しているか、という発見をすることはない。むしろ私たちの内部で働いている神性と自然の中に働いている神性とは同一不可分のものなのである。

それゆえ、もし外界が滅んでしまうようなことがあっても、私たちのうちの誰かがその外界とふたたびつくりあげることができるであろう。山や川、木や葉、根や花など、自然界のあらゆる形成物は私たちの内部にあらかじめ形成されて存在し、私たちの魂に由来するからである。その魂の本質は永遠の生命であり、その本質を私たちは感じとれないけれど、たいていの場合、愛の力、および創造の力として感じられるものである。

小説「デーミアン」から抜粋
著者　ヘルマンヘッセ　一九一九年
訳者　岡田朝雄　発行所　思想社一九九六年

二〇二一年一月一五日
広葉の林を育てる会
興膳　丈治

再生二月号　令和参年二月八日発行（毎月一回八日発行）創刊　平成二十八年九月一日　発行人　冨吉　袈裟右衛門

2 月の活動予定表

日	曜	行事活動名	場所	開始時刻	運営団体
6	土	福岡空港ミリオン清掃　第33回	福岡空港　周辺一万m	6時30分	福岡清爽クラブ
7	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
8	月	博多駅早朝清掃　第327回	博多駅筑紫口	6時15分	福岡清爽クラブ
13	土	JR酒殿駅早朝清掃　第2回	JR香椎線　酒殿駅北口	6時30分	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
14	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
20	土	新飯塚駅早朝清掃	福岡県飯塚市新飯塚駅	6時30分	いいづか清爽クラブ
21	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
27	土	令和を巡る早朝清掃　第14回	福岡県太宰府市　戒壇院	6時30分	福岡清爽クラブ
28	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校

3 月の活動予定表

日	曜	行事活動名	場所	開始時刻	運営団体
6	土	福岡空港ミリオン清掃　第34回	福岡空港　周辺一万m	6時30分	福岡清爽クラブ
7	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
8	月	博多駅早朝清掃　第328回	博多駅筑紫口	6時15分	福岡清爽クラブ
13	土	JR酒殿駅早朝清掃　第3回	JR香椎線　酒殿駅北口	6時30分	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
14	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
20	土	新飯塚駅早朝清掃	福岡県飯塚市新飯塚駅	6時30分	いいづか清爽クラブ
21	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校
27	土	令和を巡る早朝清掃　第15回	福岡県太宰府市　戒壇院	6時30分	福岡清爽クラブ
28	日	楽農人遊休農地再生楽交-inかすや	福岡県　宇美志免・粕屋	10時	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽校

発行人（編集人）冨吉　袈裟右衛門

◇NPO法人福岡実践人　福岡清爽クラブ
◇一般社団法人 実践人の家　福岡仁風読書会
◇NPO法人 楽農人　耕作放棄地再生支援楽校

〈合同事務局〉　〒811-2247
福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号　≪仁風庵≫
TEL 092-931-8155（掃除）　931-8150（読書）FAX 092-931-8120
E－mail　fukusoukai@souji.link（掃除）
kesa@rakunoujin.com（農業）

「再生」に掲載している写真は、冨吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。